



科学研究、病理研究や製造・社会インフラの検査に  
革新的な製品・サービスを提供し、  
世界の人々の安全・安心・健康に貢献します

科学事業は、各市場向けに高品質な商品・サービスを提供しています。今後もお客さまとの接点を強化し、ニーズの変化を捉え、最適なソリューションをご提供できる環境を整えていきます。

執行役員  
サイエンティフィックソリューションズディビジョンヘッド  
(科学事業担当役員)

齊藤 吉毅

- 光学、イメージング、超音波、蛍光X線等の高い技術力と品質
- 各商品ともトップクラスの市場シェア
- グローバルに展開する販売、マーケティング、サービスネットワーク
- 幅広い製品ラインアップによるトータルソリューションの提供

強み	弱み
S	W
機会	脅威
O	T

- 各地域・国の景気動向の影響を受けやすい事業特性
- 一部商品での技術的成熟化
- 一部商品における製品および販売コスト増

- 新興国における社会インフラ建設、および先進国における老朽インフラのメンテナンス需要の長期的増大
- 航空機、自動車等の製造業での需要の継続的拡大
- 病理研究領域でのデジタル化需要の拡大
- 再生医療本格化に向けた新たなニーズの創生

- 為替の大幅な変動
- 民間企業における設備投資抑制
- 各国での政府予算の執行遅れや削減
- 代替技術の登場
- 新興国の経済減速
- 特定顧客群の盛衰

## 市場環境と科学事業戦略の方向性

### 市場環境と事業機会

短期的にはIoT関連、自動車関連需要を背景とした半導体・電子部品関連産業や、資源価格の回復を背景とした設備投資環境は堅調に推移しています。中長期的には、航空・交通等、社会インフラ投資による市場拡大が見込めるほか、デジタル病理研究、創薬や再生医療支援関連ビジネス市場の本格化も期待されます。

### 科学事業戦略の方向性

ライフサイエンス分野は、高い市場シェアを確保している顕微鏡においては、がん・脳神経・幹細胞研究市場を中心に最先端のソリューションを提供するほか、予防医学を背景とした病理研究や、官民の再生医療研究、創薬研究の拡大から創出される新たなニーズに対応していきます。一方、産業分野は、世界経済の持続的成長を背景に顧客群戦略を着実に実行し、既存事業の拡大と商品ポートフォリオの拡充を両軸で推し進めます。また、将来の成長分野として、スマートファクトリー、自動検査や構造物モニタリング等の新たなニーズへの対応を図ります。

## 市場シェアとポートフォリオ

分野	生物顕微鏡	工業用顕微鏡	工業用内視鏡	非破壊検査機器	蛍光X線分析計
シェア	40~50%	30~40%	35~45%	30~40%	25~35%
競合他社	Nikon, Zeiss, Leica	Nikon, Zeiss, Leica	GE	GE	Thermo Fisher
製品					
使用用途	生物・医学研究、病理研究に貢献 病気の解明をはじめとした生命科学の基礎研究、臨床病理研究等	半導体、電子部品、自動車部品の検査等	航空機エンジンの検査等	プラント、パイプラインの検査等	資源・環境調査、RoHS対応等
顧客群	ライフ研究 クリニカル(病理研究) 再生医療支援・創薬支援	産業の効率化、品質向上、暮らしの安全・安心に貢献 製造/環境・天然資源/インフラメンテナンス			

## 重点施策

1	顧客群別のメリハリのある取り組みにより、収益力を強化し10%の営業利益を安定して確保	●産業分野、病理研究領域でのオーガニック成長 ●既存事業において、高い収益性を確保
2	市場成長性と自社の強みから特に期待できる顧客群において、積極的にポートフォリオを拡大	●お客さまの検査品質向上、生産性、効率化に貢献できるソリューションの拡大
3	長期的成長に向け、再生医療向けのソリューション開発を拡大	●将来の成長に向けた先行投資

## 2019年3月期における成果と今後の施策(課題)

### 成果

- 2019年3月期は、ライフサイエンス分野でハイエンド機種種の販売が北米や中国を中心に好調に推移したほか、電子部品、航空や発電、製造系市場の好況により、工業用顕微鏡・工業用内視鏡等の産業分野の製品が業績に貢献
- 製造やインフラメンテナンス等、今後も市場の成長が期待でき、自社の強みも発揮できる顧客群向けの製品ポートフォリオの拡大を積極的に図る
- ライフサイエンス分野は、事業の効率化を進めたことにより、収益性が大幅に改善

### 今後の施策(課題)

- ポートフォリオ拡大に向けた技術開発等を進め、売上機会の創出に向けた戦略を具体化し、実行する
- 今後、研究の進展に伴って市場の拡大が期待できる再生医療支援については、長期的な成長に向けた顧客接点強化と基盤技術の構築を継続する

## 2020年3月期の見通し

(3月期)	2019年	2020年(見通し)
売上高(億円)	1,042	1,060
営業利益(億円)	81	110
営業利益率	7.8%	10.4%

